

消防団員の主な活動内容

平常時の活動

火災から住民を守るために火災予防活動や広報活動、地域の防災力を高めるための初期消火や応急救護等の指導を行っています。



災害時の活動

消火活動や住民の救助・救護活動、避難誘導、大規模な災害により避難所が開設された際は物資要望や運営のサポートなどを行います。



消防団活動認証制度とは

消防団活動を通して地域貢献をする学生に対して、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付する制度です。この証明書は、自身の就職活動の自己PRなどに活用することができます。

学生にとってのメリット

消防団員として地域貢献してきた実績を企業にアピールできます。



企業にとってのメリット

社会貢献実績のある人材や、団体行動、規律などを身に着けた人材を確保しやすくなります。消防団経験者であるため、災害対応力の向上が期待できます。

県内の導入状況（令和5年4月時点）

県内の14市で導入されています。千葉市、銚子市、市川市、木更津市、松戸市、野田市、成田市、東金市、習志野市、市原市、四街道市、袖ヶ浦市、匝瑳市、山武市

こんな方にオススメ！！

- 消防団活動や防災活動にチャレンジしたい方！
- 住んでいる地域や勤務する街に貢献したい方！
- 消防士や救急救命士を目指している方！

消防団へ興味がある方は、ぜひお気軽に近くの市町村へお問い合わせください。あなたの御連絡をお待ちしています!!

消防団への入団フロー

1
お住まいや
勤務地の
消防団を探す

2
消防団へ問い合わせる
※電話・メールなどで
お問い合わせください

3
消防団へ入団！！
消防団入団手続きが完了すれば、
晴れて『消防団員』となります！



消防団 ～FIRE CORPS～



消防団員募集

千葉県防災危機管理部 消防課

千葉県 消防団

検索



大学生との
二刀流



鍛治晃

木更津市消防団 機能別分団学生部 団員
(大学生 21歳 入団1年目)



○入団したきっかけや
消防団活動内容を教えてください。

私は小さい頃から消防士を目指しており、清和大学には消防団学生部の窓口があると入学時に知ったため、興味があり入団しました。

消防団活動は、学生部定例会を毎月行い、規律訓練など様々な訓練や、今後の活動方針を決めています。また、防災普及活動として市内12校の中学生を対象とした防災ジュニアハイスクールや市主催の防災フェスタなどで、いざという時に役立つ防災知識を教えています。

○学生生活との両立はいかがですか。

普段は、学生として学業と部活動を行なっていますが、その一方で地域の防災活動を行う消防団はとても誇りに感じています。活動スケジュールについても、負担が掛からないよう、団員同士でフォローしています。周りからは「大変だね」とか言われますが、私はやりがいを感じているので、むしろ楽しいです。



○入団したこと
得られたことはありますか。

同じ目的を持った仲間や地域住民との絆です。活動に関してはよりリアルな防災知識・技術を身につけることができます。防災訓練などで、参加者が一生懸命に訓練をしている姿や楽しそうにしている姿を見て、防災意識の向上に少しでも役に立てていると思います。

大学を卒業した後も、社会人として、周囲の人達に防火防災の必要性を伝えていきたいと思います。

○消防団に入るか悩んでいる方への
メッセージをお願いします。

学業と消防団活動を兼務するのは大変と思うかもしれません、それ以上にやりがいを感じられます。地域の方々と交流を持つ機会は、とても良い経験となっています。

消防団はとても明るい雰囲気で活動しています。

いざという時に、地域の人達を守るヒーローになれるのは消防団です。みなさんもぜひ街のヒーローになりましょう！



消防団とは…

ほかに本業を持ちながら、「**自分たちの街は自分たちで守る**」の精神の下、
地域の消防防災活動を担う、**なくてはならない存在**です。

消防団は、市町村の**非常勤特別職地方公務員**で、所属する市町村から**年額報酬や出動した際の報酬が支給**されます。

原則として**18歳以上**の方なら、**どなたでも入団**することができます。

詳細については、お住まいの市町村へお問い合わせください。

会社員との
二刀流



加藤祐輔

木更津市消防団 第5分団第3部 部長
(会社員 33歳 入団10年目)

“会社からの熱い期待”



○入団したきっかけや
活動内容を教えてください。

昔、父が消防団に入団しており、身近に消防団の存在を感じていたため、自然と入団していました。

火災時の出動や風水害によって発生した土砂崩れや倒木等の危険排除作業など、様々な活動を行っています。活動頻度は地域によって異なりますが、災害出動の他、訓練や水利点検、資機材の整備なども行い、月に数回活動しています。

○消防団活動において、
若者の力がなぜ求められていますか？

大規模災害が発生した場合など、住民による自助・共助が求められる時があり、高齢化が進んだ地域では若者の人材がとても重要であると感じています。

また、訓練をはじめ、災害場所でも常に最前線に立って活動しています。

“同僚からも応援を受けてます”



○お仕事はどんなことをしていますか？
消防団活動との両立はいかがですか？

仕事は開発プラントで試験品製造・保守管理、製品分析・評価業務をしており、平日朝から夕方まで勤務しています。勤務後や休日に消防団活動をするだけでなく、火災など緊急時は業務を調整をしていただき出動しています。

勤務先の上司・同僚から消防団活動への理解・期待を受けている他、家族や地域の方々の協力、団員同士で助け合うことで両立することができます。

○消防団に入るか悩んでいる方への
メッセージをお願いします。

入団前は不安もありましたが、地域の住民から「ありがとう」や「ご苦労様」など声をかけていただいたときや、訓練を通じて仲間との結束力が深まり、信頼関係を築いた達成感を得られたときにやりがいを感じます。

ぜひ、多くの方に入団していただきたいです！

